

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2019年 3月 12日

2018年度申9号「『電気部門の変革2022』に関する申し入れ」団体交渉①

3月12日「『電気部門の変革2022』に関する申し入れ」団体交渉を行いました。概要を記載します。詳細や不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

【共通】

(1項) 今施策の目的等を明確にすること。

(回答) 最新技術の導入を積極的に行い「設備のシステチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」を3本柱として、業務を抜本的に変革する。更に、安全の確保をベースにこれら3本柱等により「技術的な判断業務に注力」する働き方を実現していくことで、社員の働きがいの創出、持続的な成長につなげていく。

〈交渉のポイント〉

- ・TBM から CBM へ変えていくにあたり、技術的な判断業務として、新検査により判断、業務を考えられる社員を育成していく。(設計業務やコンサルティング、設計～メンテナンス)
- ・若手教育を見直し、OJT や研修センターでの教育を基本支社が行うが、支社・現場管理者・現場長が新しいものをつくっていく。

(2項) 電気部門の在来線の効率的なメンテナンス体制の確立、電気部門の新たな新幹線体制の確立、電車線モニタリング(在来線検測車)について、具体的な実施個所とメンテナンス範囲と移管内容、デポの整備内容と備品・リネン管理と担当者、財産・備品管理や被服類、要員効果について明らかにすること。

(回答) 関係社員に対しては、説明会等により周知してきたところであり、今後も引き続き必要な説明は実施していく考えである。また、必要な設備は整備していく考えである。

〈交渉のポイント〉

- ・デポの整備内容
 - …鉄電、joi-net・パソコン配備、現地出勤できるように設備を整備(共用ヘルメット、安全靴など)
- ・財産・備品管理は調整中(基本は支社で情報集約)
 - (リネンは現行は考えていないが、必要に応じて対応)
- ・標準数に関しては提案時に示されたとおりだが、過程の要員効果として2019年4月1日で電力△5・信通△3、電車線モニタリング導入が電力△4(2021年度上期予定)

(3項) 郡山電力・信号通信技術センターの廃止に伴い、移動時間の増加による時間外労働の増加等が懸念されるが、効率的な体制を構築すること。具体的には福島または郡山MCに設計業務や企画の立会い等の担当者を配置するなどの体制をとること。

(回答)

〈交渉のポイント〉

- ・郡山を拠点メンテナンスセンターとして、詳細に関しては現在検討している。
- ・時間外労働・過重労働の増加とまらないような体制を求めました。